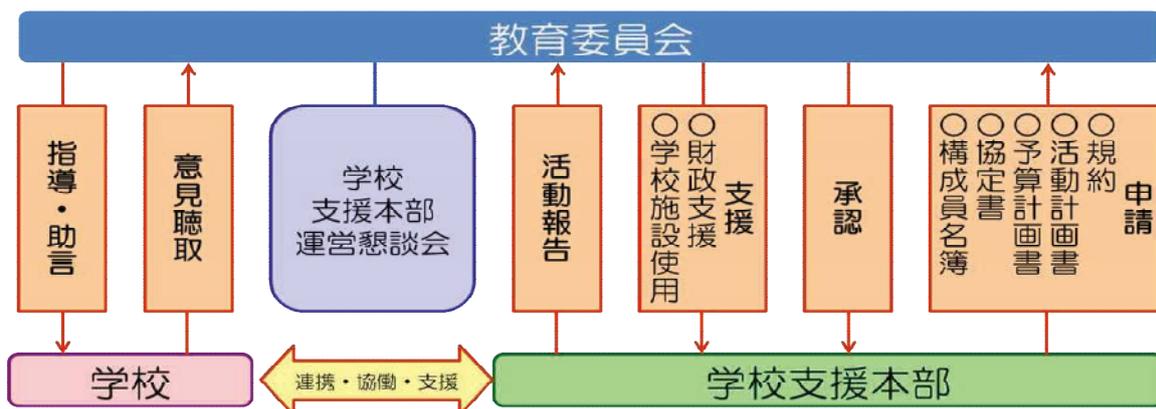


## ◆事業方針（計画等における位置づけ）

杉並区教育委員会（以下「区教委」という。）では、昨年どおり、地域学校協働本部にあたる学校支援本部（以下「本部」という。）を、平成22年度末までに杉並区小・中学校全校に設置し、地域の特色を生かした学校支援活動を実施している。

区教委では、各本部への運営経費、学校・地域コーディネーター（以下「コーディネーター」という。）等謝礼などの財政支援を行うとともに、本部員向けの研修を実施している。

## ◆地域学校協働活動（学校支援活動を含む）の実施体制（特徴・工夫等含む）



## ◆杉並区学校支援本部運営懇談会

各地域のコーディネーター、PTA協議会委員、校長会委員による懇談会を開催し、各本部の円滑な活動推進や教育活動のさらなる充実、発展を図るため、要綱に基づき設置している。

## ◆広報活動（教育報、パンフレット、HPなど）

区教委として、学校支援本部パンフレットを作製し広報活動を行っている。また、スクールサポートガイドという冊子を作製し、教員や本部の人向けの広報資料として活用している。

## ◆コーディネーターの育成・交流の機会提供や学校に対する事業理解促進

【コーディネーター研修】年4回の初任者研修と、年1回の経験者対象のスキルアップ研修を実施している。初任者研修は、コーディネーターになるための基礎的な知識を学ぶことを目的としており、研修修了者を「学校・地域コーディネーター」として区教委が認定している。スキルアップ研修は、既にコーディネーターとして活動している方が一堂に会し、更なるコーディネーター力の向上・充実を図ることを目的とし実施している。

さらに、今年度は、検定実施本部や基金を検討している会計担当に向けた、税理士による会計研修を行った。

【分区連絡学習会】コーディネーターと教員を対象として小学校・中学校の地域（分区）ごとに学習会を開催し、各本部の活動状況等の情報交換を行っている。コーディネーターと教員が一緒に参加することで、相互の理解と連携が深まるとともに、学校に対する学校支援本部事業の理解促進やゲストティーチャーやサポーターの共有を進めている。

## ◆成果

コーディネーター初任者研修を区教委が開催することで、毎年一定人数のコーディネーターを創出することができている。また、共通の研修を受けることで、区内のコーディネーターが共通の知識をもって活動することができている。

分区連絡学習会については、継続的に開催していることから、コーディネーター同士の交流も深まり、一つの学校だけでなく、地域全体の学校支援本部事業の充実につながってきている。

## ◆課題・展望

懇談会で実施した検証により、各本部の取組の濃淡があることが把握できたが、教員がどの学校に配属されても、一定の支援があることが望まれることから、さらなるコーディネーターの育成が求められる。